

技術提案書等作成要領

本業務における技術提案書等作成要領は次のとおりです。

既存施設の配置や想定している増築エリア等については別紙の「配置図等参考図」を参照すること。

1. 提出書類

- (1) 公募型プロポーザル提案書（様式5）
- (2) 見積書（様式6）
- (3) 見積内訳書（任意様式）
- (4) 技術提案書（提案概要・完成予想図（パース））（任意様式）

2. 技術提案書の内容

- (1) 技術提案書は、次の事項に基づき作成するものとします。

<用紙等>

- ① 用紙の大きさ（向き）はA3版（横使い・片面印刷）とします。
- ② 提案概要は3枚以内、完成予想図（パース）は1枚とし合計4枚以内とします。
- ③ 提案書は、カラー表現として下さい。
- ④ 審査を行う委員には、建築の専門家でない方も含まれていますので、分かりやすい表現を心掛けて下さい。

<内容>

提案書のうち提案概要には次の内容を含むこととします。提案書へ記載する順は不同としますが、該当する説明箇所に該当番号を付すなど審査を行う委員が分かりやすい表現を心掛けて下さい。

- ① 基本コンセプト
- ② 配置計画（増築・改修後のお客の動線やモニター観覧エリア、投票エリア等の計画）
- ③ 平面計画イメージ
- ④ 断面計画イメージ
- ⑤ 内観・外観イメージ（パースによる）
- ⑥ 施工計画
- ⑦ 設備・構造の考え方
- ⑧ 特に次の課題に対する提案を記載してください。

課題1 「お客様が楽しめる施設作りの提案」

(説明)

お客様はレース予想、舟券の購入、レースの観覧の行動サイクルの中で見やすいモニター、記載台、観覧席の適切な配置が重要です。さらに加えて喫煙室、自動販売機の整備も大切です。

また、常連客や新規のお客様、長時間滞在する方や短時間で購入し帰る方など様々なお客様や利用形態があります。これらを考慮しすべてのお客様の満足度が向上し、集客力につながるようなアイデアの提案してください。

(提案の条件)

- ・改修部、増築部の範囲は配置図のとおりとする。
- ・一般席 A 棟、B 棟とも喫煙所の配置については再考すること。
- ・出入口は既存のものを利用すること。
- ・モニター、記載台、観覧席については一般席 B 棟も含み全体として考えること。
- ・モニターは壁掛けタイプのほか、天吊りタイプ（両側モニター）も必ず取り入れ増築により一体となった空間を有効に活用した観覧エリアとすること。
- ・増築部にある既存の駐輪場、室外機、ゴミ分別作業場については移設とする。

課題2 「施工計画に関する提案」

(説明)

当該施設の休館日をできるだけ短くすることによる売上確保と建設コストの削減を目的とし、既存建物の改修においては閉鎖期間・範囲などを最小限に抑え、施設利用者の利便性を可能な限り考慮した上での施設作りがどのようにすれば実現できるか、そのアイデアを提案して下さい。

(提案の条件)

- ・バーチャートによる全体の工事工程と各フェーズに対応した工事エリアを表現すること。
- ・一般席 A 棟の改修時において、有料席棟への出入口を確保すること。

課題3 「内外装のデザインに関する提案」

(説明)

本施設（一般席棟）は過去2回の増築及び改修工事を実施しており、内外装の仕上げ材やそのデザインについて統一性がない状況となっています。

今回増築される部分と既存部とのデザインの調和や指定席棟とのアクセントなど、内外装のデザインについて提案してください。

(提案の条件)

- ・内装は既存部と調和のとれたデザインとすること。

- ・外装は一般席 A 棟と B 棟で仕上げの種類が違うので、どちらかをやり替え、調和のとれたデザインとする。また、有料席棟の外観とは区別しアクセントのあるデザインとすること。

課題4 「その他独自のアイデアの提案」

(説明)

提案者の自由な発想による更なるお客様満足度向上や施設の維持管理の向上につながるアイデアを提案して下さい。

(2) 見積内訳書について

- ① 社名、代表者の職氏名、見積金額等をわかりやすく記すこと。
- ② 金額は、公募型プロポーザル実施要領で示した上限額の範囲内とし、記載は税別価格とする。

3. その他

要求した内容以外の書類、図面等については受理しません。